NPOトラッソス
2021年度活動報告書

認定特定非営利活動法人
トラッソス

スポーツを通し、障がい者と健常者が共に成長できる社会を

トラッソスの理念

I. 知的 / 発達障がい児・者のサッカーの普及、選手・指導者育成を行います
II. 知的 / 発達障がい児・者の社会進出に寄与します
III. 知的 / 発達障がい児・者の精神的自立を支援します

特定非営利活動法人トラッソス
理 事 長　江木ひかり

ごあいさつ

2021年度も多くの方々に支えていただき、1年間を終えられたことに、心より感謝申し上げます。緊急事態宣言下または、まん延防止等重点措置下の続く状況の中、スクール・クラブ活動は、特別支援学校の体育館が使用できず、主にフットサル場や公園を利用して活動しました。練習の前後や休憩時にも感染防止対策を徹底すると共に、時短活動となりました。また、オンライン活動では軽運動の機会を提供しました。

指導者派遣事業は中止が相次ぎ、各地の子どもたちに会うことすら許されないことに、非常に心苦しく感じました。一方で、新規事業がスタートするという明るい出来事もありました。交流事業では、にっこにこフェスタを小規模ながら開催することができました。2年ぶりの再会にほっとした気持ちを持つこともできました。

スポンサー・サポーターの方々、会員とご家族、ボランティアスタッフに支えていただいた1年となりました。お陰様で、令和3年度東京都スポーツ功労賞、令和3年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰、令和3年度バリアフリー・ユニバーサル推進功労者表彰／内閣府特命担当大臣奨励賞という3つの素晴らしい賞を受賞できました。深く感謝いたします。

2022年度も引き続き、感染防止対策を徹底して、少しでも笑顔が広がる取り組みを行ってまいります。

派遣事業・指導者育成

近隣で行われるスポーツイベントへの参加を諦めてしまったり、遠くてトラッソス・サッカースクールに通えない知的障がい児／発達障がい児がいるのであれば、そこに私たちが向かえば問題は解決します。トラッソスは、様々な地域・団体に指導者（コーチ）が出向き、サッカー教室を開催しています。

今年度の事業概要

2021 年 4 月に緊急事態宣言が発出されてから今年度初秋にかけ、予定されていた活動数の約３割の派遣事業が中止となりました。指導者の派遣ができない状況の中、動画を配信するなどの対応を行いながら活動に取り組みました。

コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン活動も取り入れざるを得ない場合がありました。オンサイトによる活動の希望もありましたが、オンラインによるサッカー教室は自宅でもできる運動への好意的な反応が多くありました。

2021 年度指導者派遣数

137 回

うちオンラインによる活動数：８回

指導者派遣 ～みんなで地球をけっとばせ !! ～

2014 年より狛江市からの委託を受けて始まった未就学児の運動教室です。

実際に用具を設置して開催するほか、緊急事態宣言下ではオンラインで楽しく運動を行えるようにしました。動画配信による運動教室は、お子さんが楽しく取り組んでくれたというフィードバックがありました。

指導者派遣 ～アクティブ KIDS スポーツクラブ小岩～

2021 年度より江戸川区からの委託を受けて始まった未就学児と保護者の方を対象にした運動教室です。

ボール運動や様々な身体運動の経験を通して、子ども達に運動する楽しさを感じてもらうことを目標としています。

指導者育成 ～視覚支援研修会～

大阪府内で活動する発達障がい児サッカースクール「プラスサッカースクール」と合同研修会を実施しました。同スクールのコーチも兼任している大阪医科大学 LD センター奥村智人先生を講師に迎え、発達障害のある子どもたちの「見え方」について学びました。

来季への展望

未だに新型コロナウイルス感染症の影響を受けてしまう状況ですが、2022 年度は保育園の巡回指導という新しい形態の事業を実施する予定です。生涯スポーツを広めるために、未就学児から「運動が楽しい」という心を育んでいきます。また、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を含め、様々な団体に地域で活動する障がい児者スポーツを「知る」機会の提供をしていきます。

サッカースクール・クラブ事業

知的・発達障害があるため、「運動に参加できない」「スポーツが嫌いになってしまう」子どもは少なくありません。トラッソスでは幼児から成人までが共に“笑顔”で楽しむサッカーを通して、「できる楽しさ」「ボールを追いかける楽しさ」を心がけています。

また、子ども達が色々なイベントやアクティビティを通して成長することを目的とし、サマーキャンプ、クリスマス・ファミリーサッカーなどを開催しています。今年度はサマーキャンプの開催はできませんでしたが、緊急事態宣言解除後にクリスマス・ファミリーサッカーを行うことができました。

今年度の事業概要

サッカースクール

東京都内３つの地域（江戸川区・江東区・中野区）、神奈川県内２つの地域（藤沢市・横浜市）でスクール活動を毎週火曜日から土曜日、毎日楽しく練習を行っています。[スクール会員数：71 名 * 休会者を含む]

サッカークラブ

サッカークラブは毎週金曜日・土曜日、月１回日曜日に都内で活動しています。グループの中での個の存在意義とコミュニケーションを大切に活動しています。[選手数：55 名 * 休会者を含む]

サッカースクール・クラブ事業について

屋内での活動は、窓の開放や空調による換気など感染防止対策を講じながら行いました。また、可能な限りビブスや用具の共有を避けて実施しました。

ソーシャルディスタンスが求められる状況でも、楽しめるメニューを考案し活動に加えました。新たに組み入れたメニューを実践する中で、スクール生やクラブ選手によるアレンジが加えられ、活動内容にバリエーションが生まれました。大きな声での応援やハイタッチなど接触を伴う応援はできないながらも、身振り手振りによるコミュニケーションで雰囲気を盛り上げるなど、スクール生や選手自身による創意工夫が見られる１年でした。

感染防止対策について　感染防止対策として、ミニゲーム以外における人的距離の確保、備品共有の制限、検温、手洗い、手指消毒、備品の都度消毒を行いました。マスク着用に関しては、昨年度は障害によって着用ができない場合があるという点、マスク着用のプレーは危険であるという点から、ミニゲーム時は本人・保護者判断としてきましたが、今年度は運動量や強度を下げてマスクを着用した状態で練習を行いました。

休会者向けオンライン活動

昨年度に続き、今年度も休会者の増加が課題となりました。

スクール生・選手同士の継続的な交流、また休会中のメンバーの様子を把握することを目的とし、休会者と月１回の頻度でオンライン活動を行いました。オンラインで一緒に運動する通常の活動に加え、申込制によるオンラインファミリーヨガ教室を取り入れるなど新たな取り組みを行いました。

来季への展望

今年度は、学習院大学の先生に心理の勉強会の講師をお願いしました。精神疾患を中心に、トラッソスの会員の事例を元に、スタッフがどのように取り組んでいくことが最善かを検討してきました。2022 年度は学びを生かし、会員に寄り添い活動を続けていきます。また通常の活動に戻しつつ、感染防止対策を徹底してトラッソスらしい「楽しいサッカー」「自分の居場所」を提供していきます。さらに新たな施設も使用できるようになるため、スクールとクラブの交流の機会も提供していきます。

交流事業

トラッソスでは、知的／発達障がい児・者と健常児・者がサッカーを通した交流の場を設け、相互理解を深めるイベントを開催しています。

昨年度同様、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い多くの交流事業が中止となりました。コロナ禍の対応に追われる1年ではありましたが、昨年秋に緊急事態宣言が解除された後に、にっこにこフェスタを実施することができました。10 月開催のにっこにこフェスタは生憎の雨でしたが、それでも久しぶりに会える嬉しさに笑顔が溢れる 1 日となりました。

事業概要

高齢者・障がい者レクリエーション講座

2017 年より駒沢オリンピック公園補助競技場で開催されている本事業は、トラッソスのメンバーと NPO 法人日本サッカー OB 会のメンバーと一緒にサッカーをプレーします。年齢に関係なくサッカーを通して交流を深めるイベントです。

2021 年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止いたしました。

2017 年 3 月撮影

ラグビーホストゲームのボランティア

ラグビーのリーグワンに参戦するクボタスピアーズのホストゲームに、企業ボランティアの方々と共に、スクール生やクラブ選手がボランティアスタッフとして参加しました。

ボランティア同士の交流を図りながら、入場者に配布物を渡すなどゲームの運営に携わりました。「支えるスポーツ」で交流の輪を広げています。

ゴチャタノ！

2019 年より hummel と共同開催しているサッカー大会です。障害の有無、年齢、性別、職種、国籍に関係なくチームを編成して、ミニゲーム大会を行います。スクール生がデザインをした各チームのウエアを制作し、各参加者が着用します。同じウエアを着用し、ゲームを楽しみながらインクルーシブの意味を考えるイベントです。

2021 年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止いたしました。

2019 年 4 月撮影

にっこにこフェスタ

にっこにこフェスタは「誰でも、一人でも、仲間とも、家族とも」楽しめるイベントです。

今年度は 10 月と 12 月に開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、2 年ぶりの開催となりました。規模を縮小しての開催となりましたが、多くの参加チームが楽しんでプレーする様子が見受けられました。

来季への展望

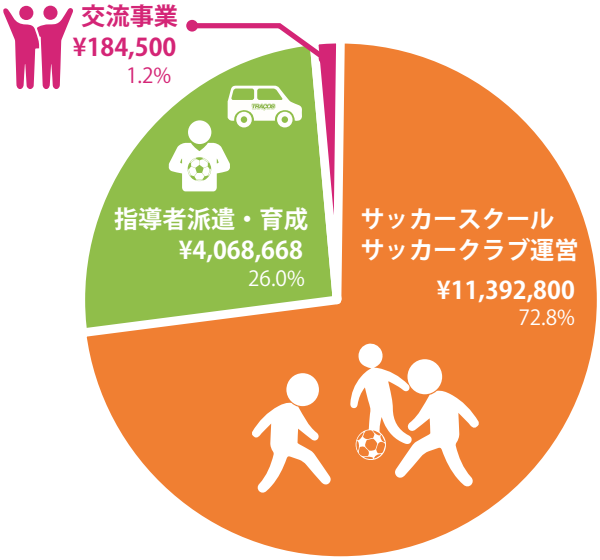
まだまだ続くコロナ禍ですが、規模を縮小し感染症対策を行いながら交流イベントを実施していきます。スポーツとの関わり方に「支える」というアプローチが広まっています。プロスポーツクラブとの連携を図り、ホームゲームの運営ボランティアなどを行う「支えるスポーツ」で交流しながら「知る・関わる・理解する」を地域社会に発信していきます。またサッカーやフットサルを中心に、スポーツという共通点を軸にして多くのスポーツ選手等との交流も実施していきます。

2021 年度会計報告

2020 年 12 月 1 日から 2021 年 11 月 30 日まで

経常収益

事業収益	￥15,645,968
内訳	
クラブ事業	￥11,392,800
指導者派遣事業	￥4,068,668
交流事業	￥184,500
寄附金	￥2,993,344
助成金	￥2,475,000
会費	￥650,000
その他	￥96
合計	**￥21,764,408**



経常費用

人件費	¥11,653,560
備品消耗品費	¥1,690,040
施設使用料	¥1,317,850
旅費交通費	¥1,688,302
通信費	¥683,238
事務用消耗品費	¥197,631
消耗品費	¥575,787
印刷経費	¥726,005
支払手数料	¥704,917
リース料	¥896,864
会議費	¥15,523
地代家賃	¥1,005,708
保険料	¥406,080
研修費	¥93,707
ボランティア関連費	¥112,860
租税公課	¥727,406
その他経費 謝礼・水道光熱費・広告宣伝費・新聞図書費など	¥1,000,112
合計	**￥23,495,590**

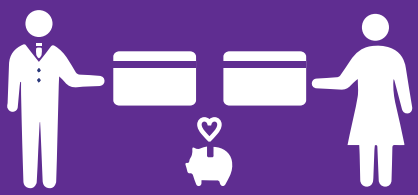
活動計算書の詳細は「令和３年度 特定非営利活動に係る活動計算書報告書」(PDF) として、ウェブサイトより閲覧頂けます。また、認定特定非営利活動法人としての事業報告書などを、所轄庁である東京都に提出し情報を公開しております。

寄附金の使途

2020 年度同様、特別支援学校の体育館が使用できない状況が多くあり、活動を維持するために民間のフットサル場を利用しました。皆様から頂いた寄附金は主にフットサル場の使用料として使わせていただきました。また、寄附金の一部と助成金を利用して、にっこにこフェスタで使用するゴールや用具を新調しました。

2021 年度経常収益につきまして

新型コロナウイルス拡大は、スポーツイベントの開催だけではなく、日常的に行うスポーツにも影響を与えました。これまで利用していた学校体育施設が使えなくなったため、フットサル場を使用せざるを得ない状況となり施設使用料が増加しました。また、感染防止の観点から、スタッフの移動手段を公共交通機関から自動車にしたため旅費交通費が増加しました。



ご支援・ご協力を頂いた皆さま

スポンサー企業

スポンサーとしてトラッソスを応援いただいている企業の皆さまから、寄附だけではなく、広報、ボランティアへの協力等、様々なご支援・ご協力を頂きました。

ゴールドスポンサー

hummel

シルバースポンサー

ナカノ商会 Nakano Shokai co.,ltd.

50冊からつくれるオリジナルノート まきます帳

MDF 有限会社エムデーエフ

ブロンズスポンサー

COUXU Corporation

CHUBB

ご寄附・ご支援

2020 年 4 月より活動を休止せざるを得ない状況となり、同年 5 月に SNS 等を通して緊急のご支援をお願いしたところ、たくさんのご寄附を頂きました。 その際に多くの方にマンスリーサポーターというご支援方法を選んで頂き、2021 年度も継続的なご寄附を賜りました。

寄附総額
¥2,993,344
2020.12.1 ~ 2021.11.30

ボランティアによる支援

トラッソスは学生や社会人の皆様、企業の皆様、国籍を問わず多くの皆様にボランティアとしてご支援を頂いております。活動に参加しにくい状況が続きましたが、たくさんのコーチがボランティアとして練習に参加してくれました。

NPOトラッソスチーム

NPO トラッソスは、中心となって活動してくれるボランティアコーチに支えられています。

理 事 長	江木　ひかり
副理事長	吉澤　昌好
理 事	鬼原　芳枝
理 事	橋本　清美
理 事	田中　康嗣
理 事	藤沼　光輝
理 事	荻野　敦子
監 事	斎藤　啓子
コーチ	吉澤　昌好
コーチ	藤沼　光輝
コーチ	松井　基樹
コーチ	荻野　敦子
コーチ	久米　秀作
チームドクター	黒川　駿哉
ファンドレイジングマネージャー	小寺　純子

2021 年度数字にみるトラッソス

ボランティア参加者
45名

スクール開催数
311回
オンライン 28 回

クラブ開催数
85回
オンライン 14 回

認定特定非営利活動法人トラッソス

〒132-0021
東京都江戸川区中央 4-20-18　米冨ハイツ 1F
TEL/FAX　03-5879-5879
Website: https://tracos.jp

認定特定非営利活動法人
トラッソス
スポーツを通し、障がい者と健常者が共に成長できるコミュニティを。
Normalization through sports
Building communities where both impaired and unimpaired people can grow and learn together.

Futebol Clube TRACOS 2003

2021 年度活動報告書 2022 年 4 月発行